

## 報告 1 各務原市地域公共交通に関する調査について

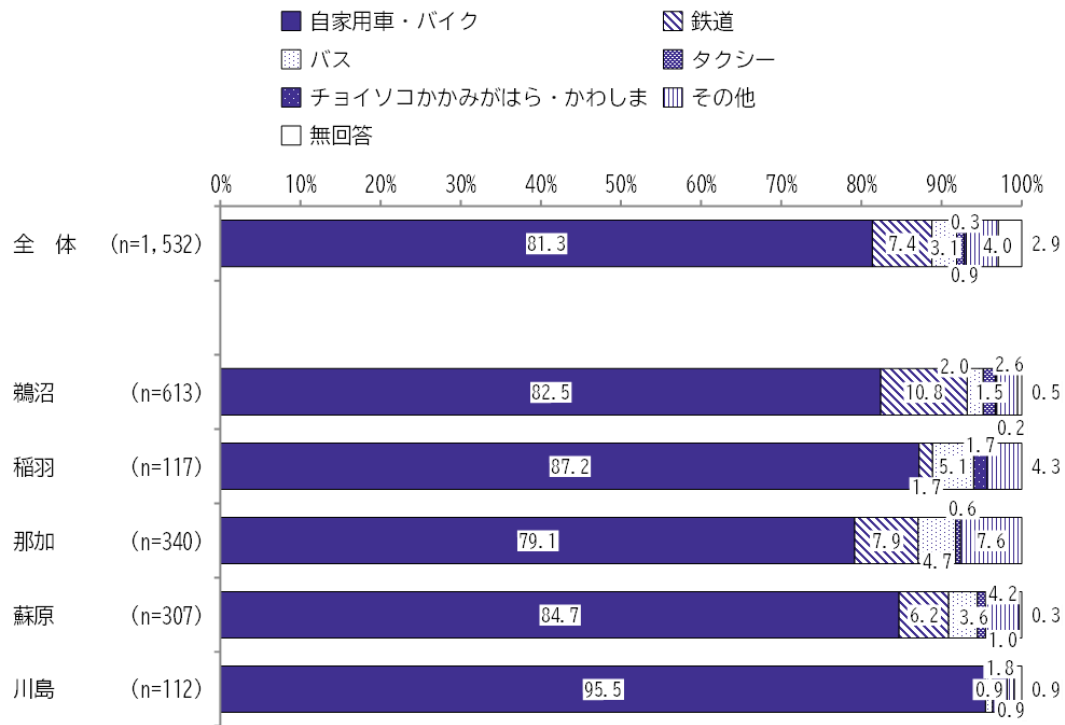
### 調査票の回収状況

	標本数	有効回収数 (率)
市民アンケート	3,000 (100.0%)	1,532 票 (51.1%)
チョイソコ会員アンケート	1,905 (100.0%)	582 票 (30.6%)

### 各務原市民アンケートの総括

#### 公共交通の利用実態

- ▶ 外出の際、最も利用する交通手段については、「自家用車・バイク」が約 8 割を占めており、鉄道やバスといった公共交通は合わせて約 1 割にとどまった。このことから、各務原市においては自家用車が主要な移動手段となっていることがわかる。



- ▶ 一方、鉄道については「年に数回以上」利用している人は 5 割半ばと、主要な交通手段ではないものの、一定数に利用されていることが分かった。年齢別では、64 歳以下の利用頻度が高く、通勤・通学目的での利用が影響していると考えられる。また、市外への移動（長距離での移動）でのニーズが高いと推測される。
- ▶ バスおよびタクシーについては、「年に数回以上」利用している人は 1 割強～1 割半ばにとどまっており、利用者は限定的である。これらは主に市内を移動する交通手段であり、自家用車を利用する層からのニーズが低いと考えられる。
- ▶ チョイソコかかみがはら・かわしまについては、利用者が全体の 1.2%にとどまっている。

## 公共交通を利用しない理由

- すべての公共交通で、その公共交通を利用しない理由として「ほかの交通手段があるから」が最も多く挙がっている。自家用車の利用割合の高さを踏まえると、ここでいう「ほかの交通手段」とは、自家用車であると推察される。自家用車による移動で日常生活が完結していると考えられ、運転可能な層においては公共交通への大きな転換は難しいと考えられる。
- 鉄道を利用しない理由としては、「ほかの交通手段があるから」の他に「駅までの交通手段がない」という回答が稲羽・川島地区で多く、鉄道駅までのアクセスを担う二次交通網の整備が課題となる。また、65歳以上の高齢層では「駅に階段や段差が多く、身体的に負担が大きい」という理由も多い。今後、公共交通の利用増加が見込めるのは免許返納を控える高齢層であると考えられるため、駅施設のバリアフリー化や移動負担の軽減は利用の促進につながると考えられる。
- バスでは「ほかの交通手段があるから」の他に「本数が少ない」や「行きたい場所に行けない」「バス停までが遠い」という利便性に関する理由が多く挙がった。特に、川島地区では「本数が少ない」「行きたい場所に行けない」の回答割合が高くなっており、バスの運行ダイヤや運行ルートが地域のニーズに合致していない可能性がある。そのため、利用実態やニーズを踏まえたダイヤ・ルートの見直しが必要だと考えられる。
- タクシーでは「ほかの交通手段があるから」の他に「料金が高い」という回答も約3割となった。また、現在免許を持っている方で、将来運転をやめた後の不安として「タクシーを使うことに、金銭面での不安がある」という回答も5割以上となっている。タクシー利用に関わる金銭面での補助や割引施策についても検討の余地があると考えられる。
- チョイソコでは、自由意見で「情報提供」への意見として、「チョイソコサービスの周知が足りない」という意見が見られた。また、チョイソコ会員アンケートでは、会員であっても利用しない理由として「使い方がわからないから」という意見が見られた。サービスの存在と利用方法の周知が必要だと考えられる。

## 公共交通機関の満足度

- 市内の公共交通全体での満足度は『満足』が21.5%、『不満』が31.1%と、不満の方が多い結果となった。
- 地区別では、特に稲羽地区と川島地区では『不満』が4割以上となっており、他の地区より不満を持つ割合が高かった。これらの地区については、公共交通を利用しない理由として「駅が遠い」や「本数が少ない」など利用の不便さに関する回答割合が他地区より高く、主要駅から遠い立地や利用可能な路線が制限されていることが総合満足度に影響している可能性がある。
- 主に公共交通を利用している層では『満足』が36.0%となり、主に自家用車を利用している層よりも16.9ポイント高かった。自家用車利用層は「どちらともいえない」の

回答割合が高くなっており、公共交通を利用する機会が少ない分、満足度を感じにくいと考えられる。一方で、「不満」の割合は両者とも約3割となっており、主たる利用交通手段にかかわらず、公共交通に対して一定の不満感が存在していることがうかがえる。

- 公共交通全体の満足度と各公共交通手段の満足度の間にはそれぞれ同程度の正の相関がみられたことから、特定の公共交通手段だけではなく、すべての公共交通手段において満足度を向上させる取り組みが必要であると考えられる。

## <鉄道>

- 総合満足度は『満足』が39.8%、『不満』が20.4%であった。
- 「自宅から駅までの利便性」「駅の駐車場」に対する不満が高い。
- 鉄道の総合満足度に比較的強い影響を与えている項目は「運行本数」「時刻表や乗り継ぎ情報」である。「運行本数」については路線別での満足度に大きく差があるため、路線ごとにニーズを踏まえて見直しすることが求められ、「時刻表や乗り継ぎ情報」はより分かりやすい案内方法を検討することが、鉄道の満足度の向上につながると考えられる。

## <路線バス>

- 『満足』が36.4%、『不満』が27.2%であった。
- 「運行本数」と「最終の時間」に対する不満が高い。
- 路線バスの総合満足度に影響を与えている項目は「時刻表や乗り継ぎ情報」「目的地までの所要時間」であった。「時刻表や乗り継ぎ情報」はより分かりやすい案内方法を検討することが求められ、「目的地までの所要時間」については運行ルートの見直しをすることが、路線バスの満足度の向上につながると考えられる。

## <ふれあいバス>

- 『満足』が29.6%、『不満』が29.6%であった。
- 「運行本数」と「最終の時間」に対する不満が高い。
- ふれあいバスの総合満足度に影響を与えている項目は「運行本数」と「目的地までの所要時間」であった。「運行本数」や「運行ルート」といったダイヤの見直しは、ふれあいバスの満足度の向上につながると考えられる。

## ふれあいバスの運行のあり方や運賃について

問 ふれあいバスの運賃はいくらとするのが妥当だと思いますか。

- 全体では、「100円」が41.3%で最も高く、次いで「200円」が26.8%、「300円」が12.7%となっている。
- ふれあいバスの利用の有無別では、利用したことがあるでは「100円」が55.5%で、利用したことがないでは39.0%となっている。

## チョイソコ会員アンケートの総括

### チョイソコの利用実態

- 回答者の 8 割以上が 65 歳以上であり、実際にサービスを利用しているのは 75 歳以上が多いことがわかった。高齢になるにつれて利用頻度が高くなっており、85 歳以上では月に 1 回以上利用している割合が 48.7%と、日常的な利用をしている人が約半数を占めている。利用する主な目的としては「通院・検診」が突出して高いことから、主に高齢層にニーズのあるサービスであるといえる。
- 逆に、会員登録したが、現在は利用していない人も 4 割弱おり、「今は必要ないが、いずれ利用するときのため」登録していることがわかった。利用していない理由も「まだ必要としていないから」が 6 割以上となっており、将来のニーズを見込みながらも、現時点で自家用車がある場合には不必要だと捉える傾向にある。

### チョイソコを利用しない理由

- チョイソコを利用していない理由として、「行きたい場所にいけないから」や「思い通りの時間に乗れないから」「予約しないといけないから」といった利用の制限や煩雑さに関する意見も 2 割以上見られた。また、85 歳以上の年齢層では、「使い方がわからないから」といった回答が他の年代に比べて高くなっており、より分かりやすい利用手順の周知が必要となる。

### チョイソコの満足度

- チョイソコ利用者のサービスへの満足度は、総合的に見ると 8 割が『満足』と回答した。
- 不満が多かったのは「運行終了時間」であり、チョイソコの終了時間が遅くても午後 5 時 30 分であることから、終了時間が速いことに不満を持っていると考えられる。
- チョイソコの総合満足度に比較的強い影響を与えているのは「運行終了時間」と「運賃」であった。「運行終了時間」について時間の延長を検討することや、「運賃」の見直しをすることが、チョイソコの満足度の向上につながると考えられる。

概要一覧表

項目		調査結果の概要		
I. 市民アンケート	1. 回答者属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 65 歳以上が 43.6%、鶉沼の居住者が 40.0%、有職・無職は約半数ずつ</li> <li>・ 8 割以上が「自家用車・バイク」を主要な交通手段としている</li> </ul>		
	2. 公共交通の利用状況	①鉄道の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ほとんど利用しない・利用しない」が 42.5%、JR より名鉄の方が利用率が高い</li> <li>・ 利用目的は「飲食・娯楽」が 51.5%で最多、次いで「買物」が 34.3%と続く</li> <li>・ 利用しない理由は「他の交通手段があるから」が 68.8%</li> </ul>	
			②バスの利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ほとんど利用しない・利用しない」が 83.4%、利用路線は「イオンモール各務原線」が 33.5%で最多、次いで「鶉沼線」が 19.9%と続く</li> <li>・ 利用目的は「買物」が 45.6%で最多、65 歳以上では「通院・検診」で利用する割合も高い</li> <li>・ 利用しない理由は「他の交通手段があるから」が 75.3%で最多、次いで「本数が少ない」が 23.8%と続く</li> </ul>
				③タクシーの利用状況
		④乗り継ぎについて		
			3. 公共交通の満足度	
		②路線バスの満足度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な満足度は 3 割半ば、運行ダイヤに関する不満が課題</li> <li>・ 「時刻表や乗り継ぎ情報」の満足度が全体的な満足度に最も強く影響</li> </ul>
				③ふれあいバスの満足度
		⑤公共交通全体についての満足度		
		4. チョイソコについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用したことがない人が 9 割</li> </ul>	
		5. 自家用車について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転免許の保有は 8 割以上、自家用車の保有は 9 割以上</li> <li>・ 自家用車の利用は「ほぼ毎日」が 60.8%で最多、次いで「週 3~4 日」が 13.1%と続く</li> <li>・ 利用目的は「買物」が 82.9%で最多、次いで「通院・検診」が 58.2%と続く</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通ではなく、車を利用する理由は「目的地まで自由に移動ができるから」が 89.2%、「荷物の持ち運びが楽だから」が 71.9%</li> </ul>
	6. 運転免許の返納について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転をやめようとしている年齢は「80歳～84歳」が 25.3%で最多、男性の方が免許返納に消極的な傾向</li> <li>・運転をやめた後に使用予定の交通手段は「ふれあいバス」が 59.4%で最多、次いで「徒歩」が 58.8%と続く</li> <li>・運転をやめた後、日常生活・緊急時の移動手段に困ることへの不安が高い</li> </ul>
	7. ふれあいバスの在り方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当と考える運賃は「100円」が 41.3%で最多、利用したことがある人の方が安い運賃を求める割合が高い</li> <li>・1か月 4000円の定期券を必要としているのは 2割未満</li> </ul>
Ⅱ. チョイソコ会員アンケート	1. 回答者属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・64歳以上が 84.4%、居住地は鶯沼が 43.9%、無職・主婦・主夫・家事手伝いが約 8割を占める</li> <li>・運転免許の保有は約 5割、自家用車の所持は 8割以上、運転の頻度はほぼ毎日が 4割半ばを占めている。</li> </ul>
	2. 会員登録について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員登録のきっかけは、市の広報、知人の紹介、市の説明会が多い。</li> <li>・登録の動機は、85歳未満は「いずれ利用するときのため」、85歳以上は「日常的な移動手段として利用するため」</li> </ul>
	3. 利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用頻度は「利用しない」が 37.6%で最多、次いで「年に数回」が 23.9%と続く</li> <li>・利用目的は「通院・検診」が 65.4%で最多、次いで「買物」が 42.5%と続く</li> <li>・利用理由は「料金が安いから」が 52.2%で最多、次いで「車を持っていないから」が 50.6%と続く</li> <li>・チョイソコ利用時には、鉄道(名鉄)やふれあいバスに乗り継ぎをする人が多い</li> <li>・利用しない人の普段の交通手段は「自家用車・バイク」「家族や知人に送迎してもらう」</li> <li>・利用しない理由は「まだ必要としていない」が 63.2%で最多、次いで「行きたい場所にいけないから」が 25.0%と続く</li> </ul>
	4. 満足度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な満足度は 8割と高いが、「運行終了時間」への不満は高い</li> </ul>
	5. 運行のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「このまま平日に運行してほしい」が 40.0%、利用頻度が高い層は平日運行の希望が多い</li> <li>・正午～午後 1時を運行休止とした場合、『支障がない』が 57.6%、利用頻度が高い層は支障がある割合が高い</li> </ul>
	1. 市民アンケート自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいバスや鉄道の運行本数を増やしてほしいという意見が多い</li> </ul>
	2. チョイソコ会員アンケート自由意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関近くに停留所を作ってほしいという意見や、自宅まで送ってほしいという意見が多い</li> </ul>